

環境経営レポート

第 46 期

(活動期間 令和3年9月21日～令和4年9月20日)



《目次》

I. 環境経営方針	P-(1)
II. 当社の概要	P-(2)
III. 推進組織図	P-(3)
IV. 環境経営目標とその実績(環境経営負荷実績と環境経営目標比較)	P-(4)(5)
V. 環境経営活動の取組計画と評価	P-(6)(7)(8)
VI. 環境関連法規制の遵守状況	P-(9)
VII. 代表者による全体評価と見直しの結果	P-(9)

I.環境経営方針

《基本理念》

関東防災工業株式会社(以下当社という)は、最新の防災設備を提供し、地域社会の安全とお客様の事業継続に貢献する事で環境保全に努めます。

《行動指針》

当社は、電気工事・消防設備工事及び販売の事業活動において基本理念に基づき、以下の環境保全活動を推進します。

1. 地域社会に最適な防災設備を提案します。
2. 事業活動において、資源を大切に省エネルギーや資源循環などに取組みます。
3. 環境汚染を未然に防止し、環境関連法令を遵守して環境に配慮した経営を継続し、常に改善します。
4. 次の事項を、重点的なテーマとして環境目標を設定し、必要に応じて見直し効果的な取組みを行います。
 - (1) 二酸化炭素排出量を削減します。
 - (2) 廃棄物排出量を削減します。
 - (3) 水使用量の削減及び水質改善に取り組めます。
5. 環境にやさしい消火器の普及につとめます。
6. 行政や地域における環境保全活動に対し積極的に参画し、地域との融和を図ります。
7. 環境経営方針を全ての従業員に周知徹底し、環境保全に関する知識・認識の向上を図ります。
8. この環境経営方針及び環境経営レポートは、社外の人にも公開します。

2015年11月 7日
改訂 2020年 9月21日

関東防災工業 株式会社
代表取締役 宮崎 慎司

Ⅱ. 当社の概要

1. 事業者名及び代表者名

関東防災工業株式会社
代表取締役 宮崎 慎司

2. 所在地

本社 〒371-0857 群馬県前橋市高井町一丁目29番地7
安中営業所 〒379-0126 群馬県安中市西上磯部1736

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者: 齊藤 亮太
担当者: EA21推進事務局 宮田 恵美子
連絡先: 電話 027-251-3535
FAX 027-251-3540

4. 事業の内容

電気設備工事, 消防設備工事, 消防設備メンテナンス及び消防用品販売

許可届出

一般建設業

電気工事業	群馬県知事(般3)第9162号	有効期限: 令和 9年 2月 7日
消防施設工事業	群馬県知事(般3)第9162号	有効期限: 令和 9年 2月 7日
みなし電気工事業	群馬県知事届出第031004号	有効期限: 令和 9年 2月 7日

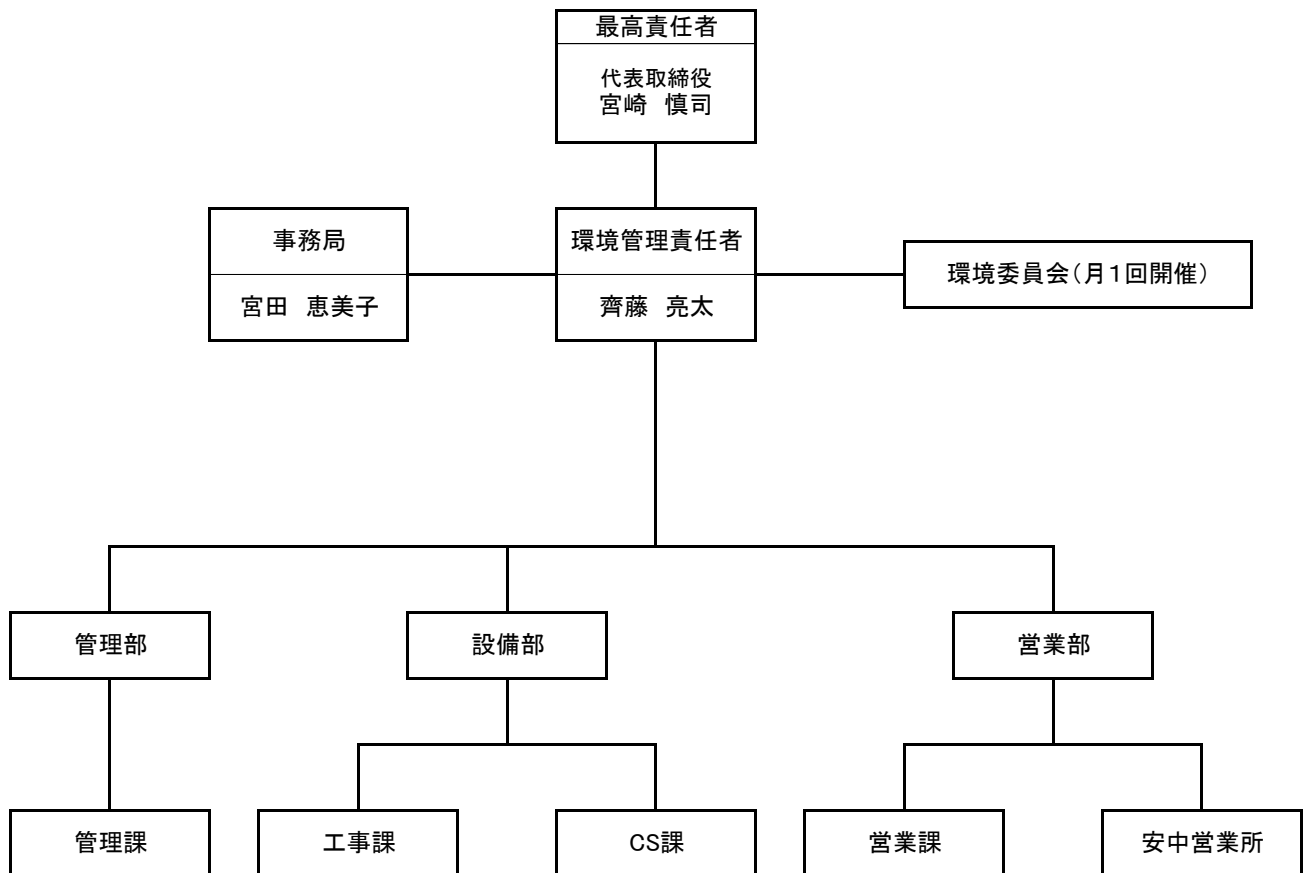
5. 事業の規模

会社設立 昭和51年9月21日
売上額 589百万円(46期)
従業員 25名

6. 対象範囲(認証・登録範囲)

本社 〒371-0857 群馬県前橋市高井町一丁目29番地7
安中営業所 〒379-0126 群馬県安中市西上磯部1736

Ⅲ.推進組織図



最高責任者	環境管理責任者の任命。 エコアクション21を運用し、維持するための経営資源を用意。 環境方針の策定。 全体の評価と見直し・指示。
環境管理責任者	環境経営システムの構築、実施及び運用。 環境経営レポートの確認。 環境活動の取組結果を代表者へ報告
事務局	環境負荷及び環境活動データの収集・集計。 環境経営レポートの作成。
各部門長	環境目標達成のための環境活動の指導。
環境委員会	月1回開催。環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況の確認。

IV. 環境経営目標とその実績(環境経営負荷実績と環境経営目標比較)

1. 環境経営目標と環境経営負荷・実績

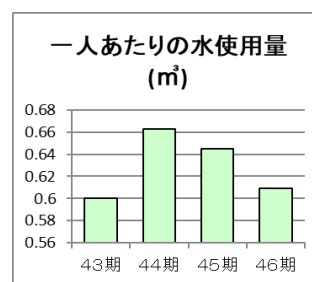
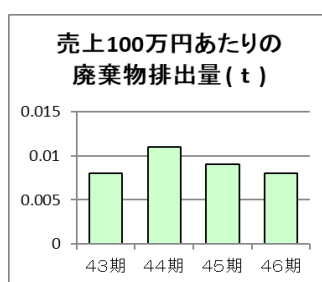
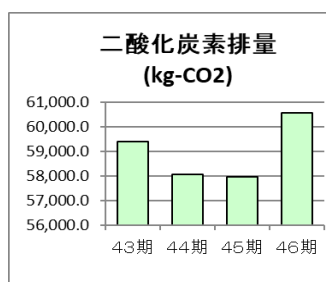
環境経営目標項目	単位	45期 (’20/10~ '21/9)	46期 (’21/10~’22/9)				中長期目標			
			実績 (基準年)		実績		47期 (’22/10~’23/9)		48期 (’23/10~’24/9)	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
1 二酸化炭素排出量の削減 (総排出量)	kg-CO2	57,954.2	1%削減	57,374.7	+4.49%	60,557.6	2%削減	56,798	3%削減	56,215
2 売上100万円あたりの廃棄物排出量の削減 (廃棄物の総排出量)	t	0.009	1%削減	0.009	-2.21%	0.008	2%削減	0.009	3%削減	0.009
		4.980		4.930		4.870		4.880		4830.6
3 一人あたり一ヶ月の使用量の削減 (水使用量の総使用量)	m ³	0.645	0.7m ³ 以下を維持	0.609		0.7m ³ 以下を維持	0.7m ³ 以下を維持			
		196.0		190.0						
4 化学物質使用量の削減		管理の徹底	管理の徹底	管理の徹底		管理の徹底	管理の徹底			
5 本業に関する目標	リサイクル・クリーンミスと消火器販売	本	1,179	前年数以下	+66.1%	1,958	前年数以下	前年数以下		
	消防訓練指導	件	75	前年数以下	+58.7%	119	前年数以下	前年数以下		
	省エネ工事(LED照明、誘導灯等)	kwh	14,674	前年数以下	-25.4%	10,939	前年数以下	前年数以下		
6 5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)活動の取組み	評価点	125.5	125.5	+1%	126.5	前年数以下	前年数以下			

※二酸化炭素排出係数 0.441(—R2年度実績— R4.1.7 環境省・経済産業省公表、R4.2.1 7一部修正、R4.7.1 4一部追加・更新排出係数を使用)

2. 過去5年間の実績(総量)

環境経営目標項目	単位	42期	43期	44期	45期	46期
二酸化炭素排出量	kg-CO2	56548.3	59395.5	58077.7	57954.2	60557.6
廃棄物排出量	t	2.126	4.540	5.617	4.980	4.870
水使用量	m ³	187.5	180.0	191.5	196.0	190.0

3. 過去4年間の環境負荷のグラフ(総量及び原単位)



3.活動の紹介

本社屋上太陽光発電発電量

45期			46期		
月	期間	電力量(kwh)	月	期間	電力量(kwh)
R2. 10月	9/14-10/14	3,056	R3. 10月	9/14-10/13	3,328
11月	10/15-11/12	2,842	11月	10/14-11/14	3,366
12月	11/13-12/13	2,756	12月	11/15-12/13	2,477
R3. 1月	12/14-1/13	2,507	R4. 1月	12/14-1/13	2,782
2月	1/14-2/12	2,962	2月	1/14-2/14	3,371
3月	2/13-3-15	4,433	3月	2/15-3/14	4,004
4月	3/16-4/14	4,732	4月	3/15-4/13	4,508
5月	4/15-5/19	5,359	5月	4/14-5/15	4,670
6月	5/20-6/14	4,549	6月	5/16-6/14	4,862
7月	6/15-7/13	3,707	7月	6/14-7-10	4,256
8月	7/14-8/12	5,182	8月	7/11-8/10	4,469
9月	8/13-9/13	3,290	9月	8/11-9/10	3,364
合計		45,375	合計		45,457

発電出力:48.9kw

太陽光発電量をCO2に換算すると21,273.9kg-CO2です。

これは杉の木1,520本が吸収する二酸化炭素を削減したことになります。



毎年恒例の「安全と環境に関する標語」を社内で募集し、優秀作を表彰しました。

★安全に関するもの(応募36点)

最優秀賞 『カンボウの 看板背負って 思いやり運転』



優秀賞 『思い出せ ヒヤリで済んだ あの教訓』



★環境に関するもの(応募31点)

最優秀賞 『綺麗な職場はミスがない 自ら進んで 環境整備』



優秀賞 『捨てないで！ 分ければそれも 立派な資源』



☆応募者には景品として15ℓのソフトクーラーバッグが贈られました。



V. 環境経営活動の取組計画と評価

取組計画	評価46期('21/10-'22/9)
<p>① 二酸化炭素排出量の削減</p> <p>前期実績に対して1%削減</p> <p>【実施事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ、車両整備 ・事務所内節電、空調温度の適正化 	<p style="text-align: right;">【評価 ×】</p> <p>4. 49%の増加</p> <p>総排出量 60,557.6kg-CO2</p> <p>安中営業所に休憩室を設けた為、エアコンの使用が増え二酸化炭素排出量が増加しました。 太陽光発電で45,457kwh売電していますので、21,273.9kg-CO2相当分が東京電力の排出削減に貢献しています。</p> <p>来期の取り組み</p> <p>エコカー導入などを計画し、削減に努めます。</p>
<p>② 売上100万円当たりの廃棄物(有価物を除く)排出量の削減</p> <p>前期実績に対して1%削減</p> <p>【実施事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物分別と処理 	<p style="text-align: right;">【評価 ○】</p> <p>2.21%の削減</p> <p>100万円当たり 0.008t</p> <p>総排出量 4.870t</p> <p>総排出量、100万円当たり共に前期より削減し目標を達成しました。</p> <p>来期の取り組み</p> <p>今後も分別を徹底します。</p>
<p>③ 一人あたり一ヶ月の水使用量の削減</p> <p>0.7㎡以下を維持する</p> <p>【実施事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節水対策(トイレなど) 	<p style="text-align: right;">【評価 ○】</p> <p>一人あたり一ヶ月 0.609㎡</p> <p>総量 190.0㎡</p> <p>総量、一人当たりの使用量共に前期より削減し、一人あたり一ヶ月の使用量は、目標の0.7㎡以下を維持しました。</p> <p>来期の取り組み</p> <p>手洗いを励行しながら節水に努めます。</p>

取組計画	評価46期('21/10-'22/9)
<p>④ 化学物質使用量の削減</p> <p>【実施事項】 化学物質管理の確認(PRTR法対象化学物質)</p>	<p style="text-align: right;">【評価 ○】</p> <p>キシレン、エチルベンゼン共に年間使用量7.0kg以下 その他の3物質の年間使用量は1.0kg以下でした。 化学物質の使用量は、「環境への自己チェック表」に反映します。</p> <p>来期の取り組み 継続して、化学物質の使用量を確認していきます。</p>
<p>⑤ 本業に関する目標(自らが生産・販売・・・環境性能の向上)</p> <p>◎ リサイクル薬剤消火器・クリーンミスト消火器販売数 前期現状維持の1,179本</p> <p>【実施事項】 ・お客さまへ、環境に配慮した消火器のご提案</p> <p>◎ 消防訓練指導件数増加 前期現状維持の75件</p> <p>【実施事項】 ・消防訓練指導</p> <p>◎ 省エネ工事の推進 (LED照明、誘導灯交換 による省電力量の向上)</p> <p>前期現状維持の14,674KWh</p> <p>【実施事項】 ・お客さまへ省エネ非常用照明器具のご提案</p>	<p>販売本数 1,958本 【評価 ○】</p> <p>旧規格消火器の交換を積極的にご提案した結果、 販売本数が増加しました。</p> <p>消防訓練指導件数 119件 【評価 ○】 前期はコロナウィルスの影響で中止が多かった 消防訓練も、実施が多くなり目標を達成しました。</p> <p>省電力量 10,939KWh 【評価 ×】 (照明17台、誘導灯83台)</p> <p>誘導灯のLED化が進んだ為か、交換台数が減り 目標を達成出来ませんでした。</p> <p>来期の取り組み</p> <p>◎ リサイクル薬剤消火器・クリーンミスト消火器販売数 旧規格消火器の更新を積極的にご提案して、いきます。</p> <p>◎ 消防訓練指導件数増加 継続してお客様への消防訓練を推進していきます。</p> <p>◎ 省エネ工事の推進 今後もお客様へ積極的にご提案します。</p>
<p>⑥ 5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の取組み</p> <p>前期現状維持の125.5点</p> <p>【実施事項】 ・5S活動の取組み ・5S委員会開催</p>	<p style="text-align: right;">【評価 ○】</p> <p>126.5点 特に安中営業所の事務所や倉庫の整理が 進み、評点がUPLしました。</p> <p>来期の取り組み 引き続き、整理整頓が進むよう努めるとともに 倉庫の不在在庫整理を進めます。</p>

VI. 環境関連法規制の遵守状況

(1) 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	要求事項	遵守状況
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出	遵法
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	機器の点検 整備の記録と保存	遵法
自動車から排出される窒素酸化物の特定地域における 総量の削減等に関する特別処置法		遵法
水質汚濁防止法		遵法
浄化槽法	浄化槽の保守点検及び清掃の実施(法10) 水質に関する検査の実施(法11)	遵法
下水道法		遵法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物管理票の交付(法12の3) 管理票に関する報告書の提出(法12の3)	遵法
資源の有効な利用の促進に関する法律		遵法
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律		遵法
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)		遵法
使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)		遵法
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び 管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)		遵法
消防法	防火対象物における消防用設備等について、 資格を有する者に点検させその結果を消防長又は 消防署長に報告しなければならない(法17の3の3)	遵法
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)		遵法
労働安全衛生法	第57条第1項の政令で定める物及び 通知対象物による危険性又は有害性等を調査 しなければならない。(法53の3)	遵法
群馬県環境基本条例		遵法
群馬県の生活環境を保全する条例		遵法

(2) 違反については、自社関係の違反はありません。

また、関係機関等からも特に指摘は無く、訴訟も同様にありませんでした。

VII. 代表者による全体評価と見直しの結果

46期は、前期(45期)に引き続き弊社を取り巻く環境変化や社会情勢、とりわけ新型コロナウィルス対策を講じながらの経営となりました。

その様な中で、掲げた環境経営活動の取組計画6つのうち4つが達成、2つが未達成となりました。次年度の目標達成の為に、どのような行動をしたらよいかを考え行動します。

未達成項目V① 二酸化炭素排出量の削減について

コロナウィルス対策のために執務スペースの分離・社用車同乗人数の制限・感染対策を講じたこと。

社員の安全衛生確保の観点から、安中営業所にエアコン付き休憩室を設けたこと。

売上・社員増加したことを受け、総体の使用電力量やガソリン使用量等も増加しました。

47期は分離していた執務スペースを更なる感染対策を講じた上、1室統合にするため電気使用量等の削減を見込みます。

未達成項目V⑦ 省エネ工事の推進について

照明切替の受注が少なかったことが要因として挙げられます。環境に配慮した工事について、

LED照明・誘導灯交換の提案に努め、当社の技術力を発揮し提案力を高め、照明切替案件受注を促進します。

また、工事における環境保全活動にも継続して取り組みます。

環境教育及び社内コミュニケーションにより社員の環境への意識及び取組をより活発化します。

これらを通して今後も目標達成に向けて、積極的に取り組んでいきます。